

第 83 回 保守管理検討会 議事録 (案)

1. 開催日時： 2024年8月9日(金) 13時00分～16時00分
2. 開催場所： 一般社団法人 日本電気協会 C会議室 (Web 併用会議)
3. 出席者： (順不同, 敬称略)
出席委員：牧原主査(東京電力 HD), 明石副主査(四国電力), 片桐(電源開発), 細川(日本原燃), 鈴木(中部電力), 仲井(元日本原子力研究開発機構), 堀水(原子力安全推進協会), 西(東芝エネルギーシステムズ), 宮道(中国電力), 米澤(日本原子力発電), 佐々木(日本原子力研究開発機構), 近藤(北海道電力), 黒岩(三菱重工業) (計13名)
代理出席：平原(九州電力, 関委員代理), 志和屋(関西電力, 池田委員代理) (計2名)
欠席委員：花木(日立 GE ニュークリア・エナジー), 大塚(北陸電力), 奥川(東北電力) (計3名)
常時参加：なし (計0名)
説明者：なし (計0名)
オブザーバ：渡辺(電力中央研究所) (計1名)
事務局：梅津 (日本電気協会) (計1名)

4. 配布資料

資料 83(1)-1	保守管理検討会委員名簿 (案)
資料 83(1)-2	保守管理検討会委員名簿 (案) 日程調整
資料 83(2)-1	第 81 回 保守管理検討会 議事録 (案)
資料 83(2)-2	第 82 回 保守管理検討会 議事録 (案)
資料 83(3)-1	保守管理規程/指針(JEAC4209/JEAG4210)次回改定について (案)
資料 83(3)-2	「JEAC4209-202X 原子力発電所の保守管理規程」 新旧比較表
資料 83(3)-3	「JEAC4210-202X 原子力発電所の保守管理指針」 新旧比較表
資料 83(3)-4	JEAC4209/JEAG4210 改定箇所及び分担
資料 83(3)-5-1	SSG-74 反映事項検討結果 (J-power, 仲井)
資料 83(3)-5-2	SSG-71 反映事項検討結果 (日本原燃)
資料 83(3)-5-3	ATENA レポート全般 (中部)
資料 83(3)-5-4	構成管理に関する JEAC4111-2021 の記載内容 (中部)
資料 83(3)-5-5	JEAC4209/JEAG4210 改定に向けての気づき事項 (仲井)
資料 83(3)-5-6	原子力発電施設の定義 (仲井)
資料 83(3)-5-7	JEAC4209/JEAG4210「非物理劣化の解説の追加」改定案 (JANSI, 東芝)

5. 議事

事務局より, 本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことの周知徹底が行われた後, 牧原主査の開催の挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 代理出席者、委員定足数、常時参加者、説明者、オブザーバ、配付資料の確認

事務局より、代理出席者2名の紹介があり。分科会規約第13条(検討会)第7項に基づき、主査の承認を得た。出席委員数は現時点で代理出席者も含めて15名であり、分科会規約第13条(検討会)第15項の決議に必要な委員総数の3分の2以上の出席を満たしていることが確認された。

その後、オブザーバ1名の紹介があり、分科会規約第13条(検討会)第11項に基づき、主査の承認を得た。その後配付資料の確認があった。

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料83(2)-1及び資料83(2)-2に基づき、前々回及び前回議事録案の紹介があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき決議の結果、前回議事録について一部修正を前提として、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

(3) JEAC4209/JEAG4210の改定に向けた検討について

牧原主査及び各分担委員より、資料 83(3)シリーズに基づき、JEAC4209/JEAG4210 の改定に向けた検討について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 83(3)-1 の 21 頁の SSG-71 の所であるが、前回検討会時に、リスク評価については PRA の内容も加味し、リスク増加分の瞬時値だけではなく時間軸含めたリスク評価が必要になるようにも読めるため、今回あえて変える必要は無いというご意見を頂いた。また、一時的な変更をする場合に手順書で明確にすることについても、JEAC4111 側の要求であって JEAC4209 側に反映する事項ではないというご意見もいただいた。比較表からも削除しており、今回の検討会で意見を頂き、問題なければ 21 頁からも削除する。
- ・ 資料 83(3)-1 は検討の中身を説明するのか、変更内容を説明するのかどちらか。
→ 前々回改定では改定内容が重くなかったため、A4 資料で改定の考え方と内容を説明した。前回改定では新検査制度対応等広範であったため、中間報告を内容ごとに数回に分けて、積み上げていく方法をとった。今回そこまで重くはないが、改定の分類と具体的な改定例を示すのがよく、現行の資料の形でいいと考える。
- ・ 改定内容の 2 番目のうち、EQ や非物理劣化は 1 番目にカテゴライズすべき事項。
- ・ 新旧比較表の表紙、変更理由の分類は 83(3)-1 の分類と整合させるべき。
- ・ 以前の改定で、施設管理と保守管理の関係を巻頭言ではなく規格本文へ記載すべきとの議論があったが、序論に記載があることを確認した。今回改定でも、施設管理と保守管理の関係を序論に残す必要がある。
→ 序論ではなく、第 2 章に記載すべきではないか。
→ 他規格での事例も確認したうえで、記載方法を検討する。
- ・ MC/MG-3、「高年劣化技術評価」の内容が「長期施設管理計画」に取り込まれ、その中には製造中止プログラム等が含まれているので、(24)長期設備管理計画と(25)経年劣化に関する技術的な評価に分けている。ここでの悩みが、用語の定義と言いつつ(24)には技術的にやらなければならない事項が書いてある一方、(25)は炉規則の用語そのまま。また、他の場所では「長期施設管理計画」の

くくりか，その内訳の技術的な評価なのか，悩みながら記載している。

→ 長期施設管理計画と技術的な評価の使い分けについて，先行電力の意見も取り入れて記載を検討する。

・ 構成管理を用語の定義に追加することについて，「構成管理」は JEAC4209 では使われていない。コンフィギュレーション管理として JEAC4111 側で定義されているので，JEAC4111 を呼び込むことでよいのではないか。

→ 構成管理の用語の定義については削除し，MG-14 ではコンフィギュレーション管理に変更したうえで JEAC4111 を呼び込む。

・ 非物理劣化については，既に安全性向上評価等の結果と JEAC4209 のインターフェイスができており，本文の改定は不要と考える。まずは，改定に盛り込むのではなく中間報告資料に検討会での議論を記載することで対応する。

・ 資料 83(3)-5-5 及び資料 83(3)-5-6 については，次回検討会での議論としたい。

(4) その他

次回保守管理検討会は 9 月初旬に開催する。今回の検討会でのコメントを各自反映したうえで，次回検討会で議論する。

以 上